

# 学会ニュース 2024年

当院の医師は日常の医療だけでなく、論文や  
学会発表を通じて、全国的にも活躍しております。  
その一部をご紹介します。

## 桑原勝孝 医師

学会：第 111 回日本泌尿器科学会総会

発表演題名：日帰り（外来）治療としての Rezum

新しい前立腺肥大症手術である Rezum の成績。他の病院では入院で行っている手術であるが当院では日帰りで行っています。日帰りですべて安全にできるという発表。

学会：第 13 回 PVP 研究会

発表演題名：PVP ライブ

PVP の手術をライブで学会で見てもらいました。ライブは失敗が許されませんが、問題無く終了し卓越した技術は聴衆の参考になったと思います。

学会：第 31 回日本排尿機能学会

発表演題名：PVP における術直後の排尿状態の検討

PVP は手術翌日に尿道カテーテル抜去し、排尿可能となります。その排尿の程度は術翌日にも関わらず手術前と比べて十分改善しているという発表。

学会：第 38 回日本泌尿器内視鏡・ロボティクス学会総会

発表演題名：前立腺肥大症に対する射精温存 XPS-PVP の治療成績

射精温存は従来の肥大症手術では難しかったが、本方法では 95% と高い温存率を達成することができたという発表。

## 渡邊 望 医師

学会：第 38 回日本泌尿器内視鏡・ロボティクス学会総会

発表演題名：経尿道的前立腺吊上術（PUL）術後にし得た光選択式前立腺蒸散術（PVP）の 1 例

他院で経尿道的前立腺吊上術（PUL）後に排尿が良くならず当院で PVP で再手術した症例。難しい症例であったが、問題なく手術できたという発表。

## 土田哲司 医師

学会：第 111 回日本泌尿器科学会総会

発表演題名：Examination of the relationship between improvement of urinary status after PVP and frailty

PVP で排尿が良くなると、フレイルも良くなるという発表。排尿がよくなると日々の活動性もあがり、体全体がよくなるのです。

学会：第 69 回日本透析医学会総会

発表演題名：レボカルニチン投与下における臨床効果の検討

透析患者さんはカルニチン欠乏症となりやすいが、カルニチンを投与することにより体全体に良い効果をもたらすという発表。